

小4 国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 87.5%

ねらい：漢字の読み書きが正しくできるかを問う。

分析と対策：漢字は一点一画まで丁寧に書くことを心がけましょう。また、読みでは、いくつかの読み方を持つ漢字について、送りがなや前後の漢字に注意して読んでいくようにしましょう。

2 カタカナで書くことば 95.0%

ねらい：カタカナ表記のルールが理解できているかを問う。

分析と対策：外国の地名や人名、外国から入ってきたことば(外来語)はカタカナで書き表します。このほか「チュンチュン(と鳴く)」「ザーザー(と降る)」など、音を表すことばもカタカナで書きます。

3 国語辞典の引き方 54.5%

ねらい：国語辞典を引くときの語の配列が理解できているかを問う。

分析と対策：基本になる五十音の序列のほかに、清音と濁音、半濁音の序列や、拗音がある場合の序列、長音が入っている場合の序列などに注意します。また、漢字やカタカナ表記のことばはひらがなに直すなどして、ことばの正しい序列を考えるようにしましょう。

4 詩の読みとり 52.9%

ねらい：詩の中で用いられている表現の特ちょうをつかみ、また、詩にこめられた主題をとらえる力を問う。

分析と対策：五音と七音のくり返しによって軽やかなリズムを生み出すとともに、「ちららちら」「とんとと」などの様

子や音を表すことばを用いることで、作者の目の前に広がる情景を、五感豊かにえがきだしている詩です。表現の面白さを味わいましょう。

遠くで「ちららちら」と光って動くさざなみを作者が何に見立てているのかを考える問題。選択しをそれぞれ丁寧に検証し、この詩に当てはまらない部分を探しましょう。詩全体のイメージをとらえさせる問題です。銀色に光るさざなみや笑っている魚、「とんと」という音などからは、おだやかでゆったりしたイメージが感じられます。

5 物語の読みとり 62.3%

ねらい：場面や、登場人物の心情をとらえる力を問う。

分析と対策：いつも一人で大岩の上に住んでいる白オオカミのことが気になり、何とか近づきたいと思っているユイの思いを読み取ります。正しい擬態語を選ばせる問題です。では、そのときの白オオカミの心情を考えることも必要です。比喩表現に関する問題です。ある物をほかのものにたとえる「~のような」「~みたいな」ということばの働きを確認しておきましょう。これらのことばを実際を使って例文を作ってみるのもよいでしょう。

ユイの心情や性格をつかみます。ユイのせりふだけでなく、ユイのしぐさや見ているものなどにも注意すると、より細かい心の動きをとらえることができます。

全体の平均点は65.9点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけてみましょう。